



校長先生からのメッセージ

大國小学校は、明治37年に創立し、令和5年度に創立120周年を迎えました。
 学校教育目標「ささえるなかま たしかなちから じょうぶなからだ」のもと、子どもたち一人ひとりの個性や可能性を大切に
 した教育を推進しています。
 友だちが大事、自分も大事、お互いに助け合う「ささえるなかま」
 しっかり考え、自ら学び、自分で行動できる「たしかなちから」
 元気に遊び、生活リズムを整え、病気に負けない「じょうぶなからだ」
 そんな子どもたちの姿をめざし、学校が安心して自分らしく過ごせる場所となるよう、教職員一同力を合わせてあたたかい学
 校づくりを進めています。
 子どもたちは、日々の学習や学校行事、体験活動や出前授業を通して、多くの経験を積みながら成長しています。これからも、子
 どもたちの可能性を信じ、保護者・地域のみなさんと力を合わせながら、笑顔あふれる学校づくりに努めてまいります。
 子どもたちの学校生活のようすは、ホームページをごらんください。そして、いつでも学校見学におこしください。



運営に関する計画（概要）

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「困りごとや不安が
 ある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談で
 ける」と答える児童の割合を80%以上にする。

- ① いじめの早期発見、早期解決
- ② 支え合う仲間づくり
- ③ 性・生教育など人権教育の推進

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「規則正しい生活（
 「朝食を毎日食べること」「毎日同じくらいの時

刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること）」が大切
 だと思う」と答える児童の割合を80%以上にする。

- ① できる、わかる喜びのある学習
- ② 学び合いを取り入れた授業
- ③ 心身ともに健やかな成長をめざす健康教育

【学びを支える教育環境の充実】

○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、
 自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べた
 りしている」と答える児童の割合を80%以上にする。

- ① codey rockyやTrue True等を活用したプログラミング学習
- ② ICT機器を活用した学習

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

● 令和7年度調査結果の概要 ● 取組みの成果と課題、アクションプラン

○国語科の平均正答率は、全国平均と比べて5.8%低かった。領域別では、全国平均と比べて、「話すこと・聞
 くこと」では8%、「書くこと」では14.5%、「読むこと」では1.2%、それぞれ低い結果だった。
 ○算数科の平均正答率は、全国平均と比べて7%低かった。領域別では、全国平均と比べて、「数と計算」では8.8%、
 「図形」では4.8%、「測定」では10.4%、「変化と関係」では11.2%、「データの活用」では7%、それぞ
 れ低い結果だった。
 〈今後の取組〉

上記の結果の分析を行い、児童の基礎学力向上を図るとともに、国語科・算数科ともに、思考力・判断力・表
 現力を養う取組を行っていく。

全国体力・運動能力、運動習慣調査等の結果から明らかになった現状

● 令和7年度調査結果の概要 ● 取組みの成果と課題、アクションプラン

○男子では、握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ソフト
 ボール投げ、すべての種目において、大阪市男子平均を上回った。
 ○女子では、握力・長座体前屈・20mシャトルラン・50m走で、大阪市女子平均を下回ったものの、上体起こ
 し・反復横とび・立ち幅とび・ソフトボール投げにおいて、大阪市女子平均を上回った。
 〈今後の取組〉

体力強化週間を設定し、「かけ足・なわとび週間」「マラソンカード」「なわとびカード」に取り組む。休み時間にも、
 自ら設定した目標達成に向かって、身体を動かすなど、運動することの楽しさに気づけるような取組を行っていく。

※本校は調査対象学年が単学級であるため、大阪府教育委員会の方針に基づき、
 平均正答率及び平均値の結果は公表していません。

※本校は調査対象学年が単学級であるため、大阪府教育委員会の方針に基づき、平均正答率及び平均値の結果は公表していません。

